

引違い窓

ご使用前に確認してください

- 必ず、P.5「第1章 安全にお使いいただくために」を確認したうえでご使用ください。

お願い

- 窓から出入りしないでください。戸先錠仕様の場合、窓を閉めると自動で施錠され、しめ出されるおそれがあります。
- お手入れ方法についてはP.150を参照してください。

■各部の名称

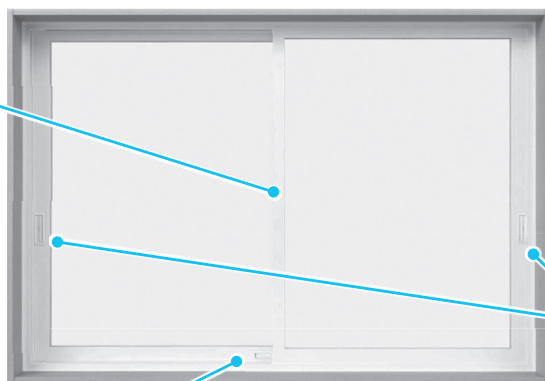
●引違い窓

両側の窓をスライドさせて開閉します。

クレセント
(主錠)



戸先錠
(主錠)



補助錠



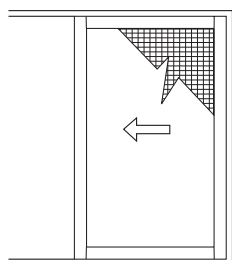
※商品の仕様によって、主錠の種類が異なります。
主錠の種類を確認した上で操作を行ってください。

- 戸先錠のみ
- 戸先錠 + クレセント
- クレセントのみ

●使用できる網戸

スライド網戸

→P.99



窓の開け方

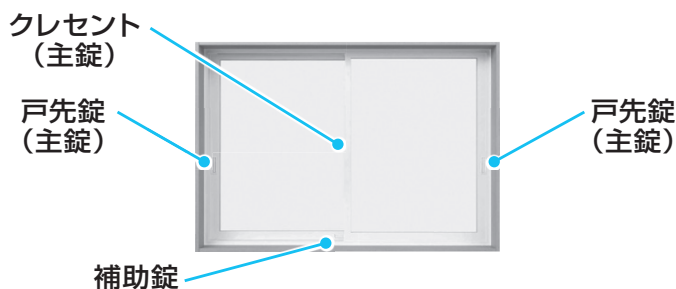
第3章

窓

網戸

ドア

使い方

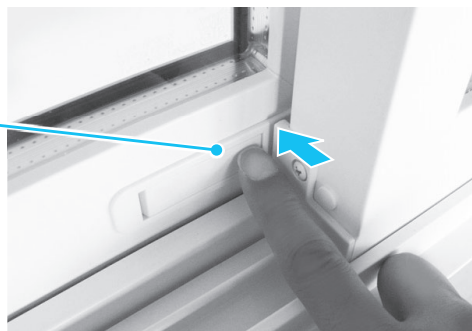


1 補助錠を解錠する

補助錠の飛び出している部分を
押します。

(※補助錠は、より防犯性を高めるための
補助的な力ギです。)

補助錠



2 クレセントを解錠する

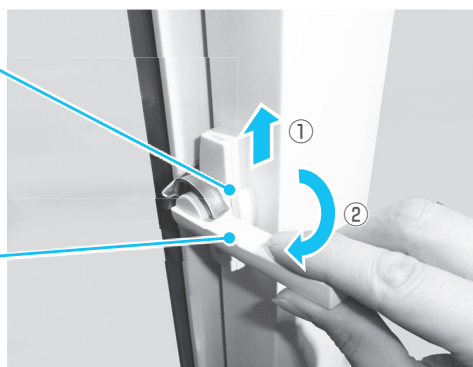
クレセントロックを上げ、
ノブを下にまわします。

※クレセントが付いていない場合は、
手順3を行ってください。

- クレセントは、ノブを持ってゆっくりと
確実に操作してください。

クレセント
ロック

ノブ



3 戸先錠を解錠し窓を開ける

戸先錠のレバーに指をかけ、そのまま静かに
開けたい位置までスライドさせます。

※ロックが解除されます。

※解除されると、戸先錠の表示が
「赤色」になります。

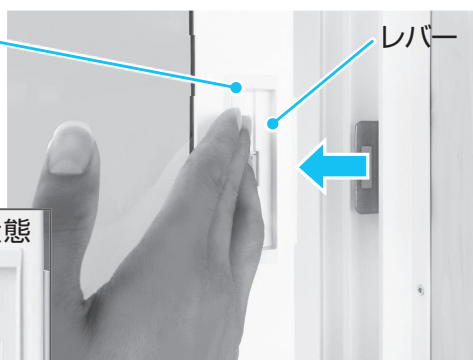
※戸先錠が付いていない場合は、
引手に指をかけて窓を開けて
ください。

戸先錠

レバー

解錠状態

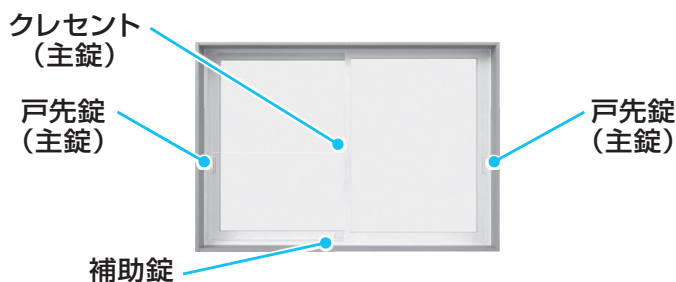
赤色表示



⚠ 注意

- 引手以外の部位を持って窓を開閉しないでください。
指をはさむなど、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。
- 窓のサイズによっては、引手とクレセントが同じ高さの場合がありますので、勢いよく窓を開けないでください。
引手とクレセントの間に指をはさむなど、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。

窓の閉め方



1 窓を閉める

引手に指をかけ、最後まで閉めます。

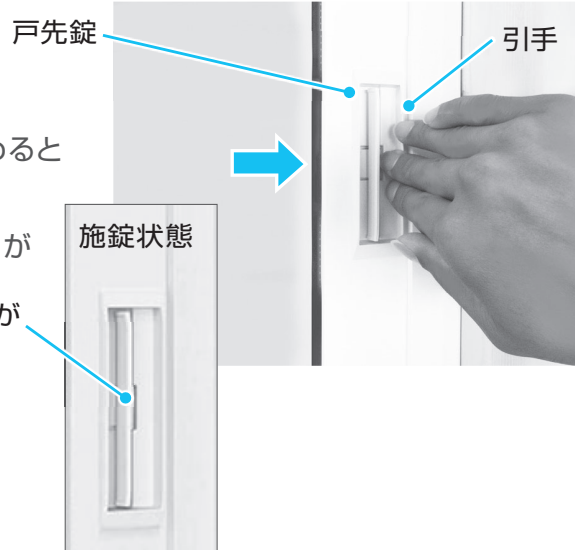
※戸先錠が付いている場合は、窓を閉めると自動的に施錠されます。

※施錠されると、戸先錠の「赤色表示」が見えなくなります。



注意

- 引手以外の部位を持って窓を開閉しないでください。指をはさむなど、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。



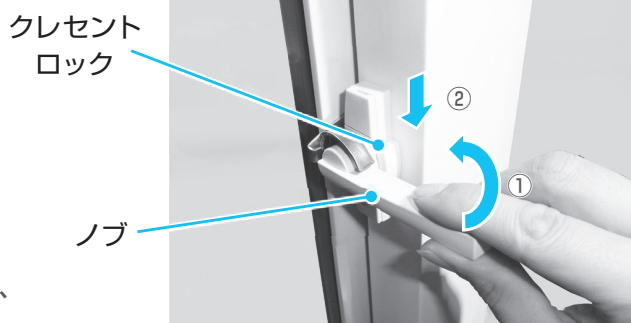
2 クレセントをロックする

ノブを上にもわし、クレセントロックを下げます。

※クレセントには空掛け防止機能があり、窓がしっかり閉まっていないとまわりません。

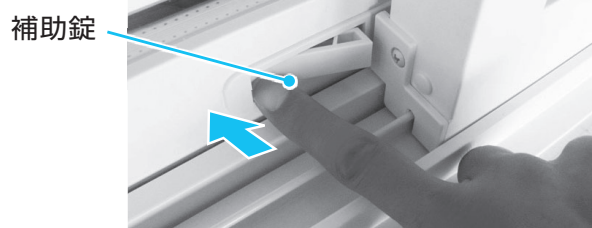
※クレセントが付いていない場合は、手順3を行ってください。

- クレセントは、ノブを持ってゆっくりと確実に操作してください。



3 補助錠をロックする

補助錠のくぼみを奥に押します。戸先錠以外の場所を持って、窓が開かないことを確認します。



(※補助錠は、より防犯性を高めるための補助的なカギです。)